

～島に子供が残る農業をやっていきたい～
花澤 伸浩さん(今治市(旧上浦町))

今治市有機農業推進グループ 副代表 1968年生まれ

ホームページ <https://kakasha.jimdo.com/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/hanazawafamilyfarm>



☆経営概況☆

柑橘：温州みかん 25a、伊予柑 20a、はっさく 20a、レモン 20a、
その他雑柑（不知火、ネーブル他）50a

ワイン用ブドウ 10a

鶏卵：野草たまご用 65羽 露地野菜 10a 水稻 10a

加工品：ジャム・マーマレード、和洋菓子等



☆ここがポイント☆

国際農業者交流協会に勤務し、夫婦で海外生活も経験した後、平成 18 年に気候に恵まれている瀬戸内で農業をしたいという数カ所の候補地を見て回り、大三島に移住を決めました。

県の担い手育成研修制度を活用し、2年間の先進農家での研修を経て農業を開始。

「家族」の幸せを考える農業＝消費者ご家族の笑顔と安心を考える事をモットーに、化学農薬・肥料を使用せず、自然環境が本来備えている力を引き出す農法で柑橘や野菜、たまごを生産しています。

農園の倉庫に付属した小さな家庭用のキッチンを改装して加工工房を作り、妻の友香さんが素材を生かしたコンフィチュールや焼き菓子などを製造し、直売所やインターネットなどで販売しています。農園の収穫物をすぐに加工原料として活用できるだけでなく、収穫物の選別の様子や状態をみながら作業を行うことができます。

夫婦で話し合い、協力し合って農園の収穫物をしっかり理解し、販売していくこと、その良さを引き出す加工品作りを頑張っています。

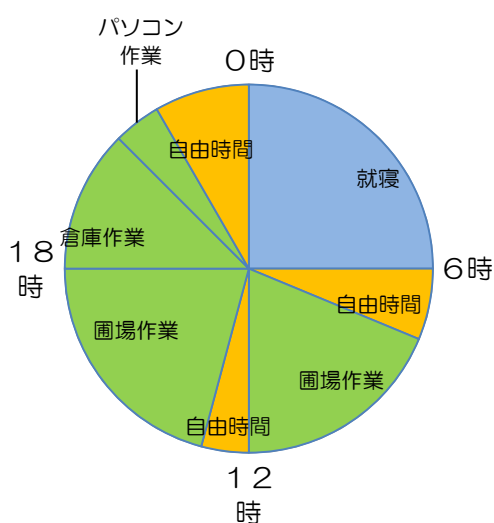


果樹園での管理作業風景



子供が出荷作業をお手伝い

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

夫婦ともに地域のつながりを大切にしています。地元へ溶け込み、子供たちも地域の中で育ててもらっていると感じます。

子供たちの少年野球の遠征の応援の他、商品PRのための出店でいろいろな地区に出向き、新たなつながりができるのも楽しみです。

1ターンなど同世代が多い地域なので、気の合う仲間のネットワークを作りイベントを企画するなど、町おこしにも積極的に取り組んでいます。

地元農業者や農業女子関係の国や県の研修会にも可能な範囲で参加し、仲間の輪を広げています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期・普通期】				※子供の行事等で用事があれば休みます		
← 収穫・剪定・草刈など曜日は関係なしに何かしら作業はしています。 →						



夫婦そろってマルシェに出店



いつも笑顔の絶えない自慢の家族です

☆これからの夢や目指すもの☆

大三島も人口減少がすすみ、寂しくなっていると感じています。自分がこの地域で農業を頑張ることによって、大三島を盛り上げ宣伝し、子供たちがここに残ってここで暮らしたいと思ってもらえたらと思っています。

また、島の魅力を感じ、島を目指して来てくれる人が増え、1人でも多くの方が定住し、島のにぎわいを取り戻すことが夢です。

☆メッセージ☆

農業はやればやっただけ自分に返ってきますし、手を抜けば抜いた分だけこれも自分に返ってくるのでやりがいがあります。自然環境の変化により技術や生産する作物についても日々変化しているので勉強は欠かせません。

農業がやりたいと思ったら、まずどんな小さなことでも「初めの一步」を踏み出すことが大切なのではないかと思います。